

2013 年度北海道自主夜間中学校交流会

第 4 回実行委員会のまとめ

札幌エルプラザ 4 階男女共同参画研究室 3・4

出席者： 今西（函館）、賀根村（釧路）、飯塚、泉、遠藤、岡野、工藤朱  
工藤、小塚、清野、宮内、森川、横山、吉岡

（議題）

1. 2013 年度北海道自主夜間中学交流会「札幌遠友塾の公開授業」（8 月 3 日、札幌エルプラザ大研修室）の反省
  - (1)「公開授業について」 (2)運営について (3)記録集について (4)会計報告 (5)その他
2. 2014 年度北海道自主夜間中学の交流会について
  - (1)企画内容 (2)場所（主催自主夜間中学） (3)予算 (4)その他

1. について

- (1)・英語の授業も見なかった。又、教室での授業の様子も見なかったので、この 2 点については残念だった。
  - ・釧路のスタッフからじっくりクラスの授業も見なかったということが伝えられた。しかし、じっくりクラスでは授業の妨げにならない程度の見学は可能だが、公開授業としては無理ではないだろうか。
  - ・国語の授業の流れがとても新鮮で面白かったという受講生の反応が聞かれた。
  - ・数学もわかり易い授業であった。ただ、中には上から目線を感じるというスタッフもいた。どうしても元教員のスタッフの場合は、職業柄か教えるということが前面に出てくるようだ。
  - ・若い人の参加が難しかったが、釧路の授業とは違った一斉授業を見て貴重な体験をしたとの感想があった。
- (2) つくる会での反省と同じ
- (3) 第 1 次原稿を 10 月いっぱい、釧路、函館、札幌で校正し、年内に印刷・発行・送付の予定。
- (4) 記録誌発行、送付用とし、現在 3 万円ほど残っている。

（予算；札幌遠友塾 5 万円、つくる会 5 万円、コーヒー売り上げのカンパ 5000 円）  
（支出；受講生宿泊費 14000 円、釧路函館交通費 15000 円×2、会場費その他約 3 万円）
- (5)・懇親会は 60 名参加で、担当（宮内、吉岡）にご苦勞をかけたが、参加した受講生からは、良かったという感想があった。
  - ・実行委員会の参加がなかなか大変なので、パソコンを使っただけの会議など工夫の余地がないだろうかという意見が出ていた。これからの課題として提起されました。

## 2. について

- (1) 講演、生活体験発表、授業見学等、いろいろ考慮中
- (2) 函館遠友塾が主催し、函館市で9月前後の土曜日午後3時～ということで決定する。
- (3) ・ファンド（助成金）を探ってみることはどうか。
  - ・函館としては今までたまってきた予算を使い切るべきだという意見もあり、多少予算を組める。
  - ・釧路としては、もっと「くる会」の活動として、交流会参加へ向けて積極的に働きかけてみたい。
  - ・札幌遠友塾としても多くの受講生の参加を目指して予算化を働きかけたい。一方、行政への財政援助の要望も考えてみたい。
- (4) ・様々な現状についての意見が出されました。
  - ・若い人がせっかく来てもなかなか対応しきれず、来なくなるケースもある。現役の中学生（不登校）の場合は仮入会という形で出来るだけ受け入れている。（釧路）
  - ・行政の指導教室にも通えない（同年代とのコミュニケーションが怖い）現役の中1の不登校生徒を受け入れている。（行政の指導機関に紹介すべきだという意見もあったが）（函館）
  - ・様々な事情を抱えた若い受講生が増えてきて、学習以外のサポートをつくる会で担うべきではないだろうか。何かバックボーンとなるところをおさえておかないと、なかなか対応が難しいと思う。（札幌）
  - ・一受講生が川北小学校の1年生に入学しての国語の授業への参加が今年度実現している。又、向陵中学校への要望の中のトイレの改修も実現しました。（札幌）
  - ・「授業」と「行政を含めた市民への活動」をしっかりと区別しながらも連携させて活動しなければならない。特に行政との直接交渉がますます必要となってきている。（札幌）
  - ・学習者が減っても特に学生スタッフを中心とした多くのスタッフがみんなですべて支援していくようなスタッフの確保が大切だ。（釧路）